

ふかめる

地球ひろば

とも 共につくる ぼくらの未来

協力: JICA (ジャイカ)
https://www.jica.go.jp/hiroba/

コロンビア②



- 国名 コロンビア共和国
- 面積 113万9000平方キロメートル (日本の約3倍)
- 人口 4865万人 (2016年世界銀行)
- 民族 先住民などの混血75%、ヨーロッパ系20%、アフリカ系4%、先住民1%
- 言語 スペイン語
- 宗教 キリスト教 (カトリック)
- 時差 14時間 (日本が進んでいる)

洪水に負けない国に

南アメリカ大陸の西側を南北7500キロにわたって連なるアンデス山脈は、世界一長い山脈です。コロンビア共和国は、北部アンデス山脈の火山帯に位置し、山脈の間には大きな川がたくさん流れています。洪水が起きやすく被害も大きいため、国を挙げた防災・減災の仕組みづくりを日本が手伝っています。



マグダレナ川流域。川のすべそばに家が建っているのがわかります。

災害が起きやすい地形

今から8年前の2010年、コロンビアでは4月に雨期を迎えると長雨が続きました。

この年、太平洋では「ラニーニャ現象」が起きていました。南アメリカ大陸寄りの赤道付近で、海面の水温がいつもより低い状態が続く現象で、世界各地に異常気象をもたらします。コロンビアでは大規模な集中豪雨となり、洪水や地すべりが発生しました。国内全32県中28県が被害を受け、被災者は総人口の約5%にあたる230万人にも上り、歴史的惨事となったのです。

過去20年間にコロンビアで起きた大きな自然災害のうち10件中9件が洪水です。被害にあった人は合計で約800万人にも上ります。



コロンビアの政府関係者や技術者が日本の洪水管理を学ぶため来日しました

コロンビアの洪水災害は被害の規模が大きく、他の災害に比べて発生率も高いのが特徴です。今後も気候変動の影響で、想像を超える洪水が起きる危険も考えていかなければなりません。

危険を予測し被害小さく

「洪水が起こるかもしれない」と危険を事前に予測し、対策を立てることを「洪水管理」といいます。しかしコロンビア国内では、この洪水管理の必要性があまり理解されていないというのが最初の問題でした。そこでJICAコロンビアでは、日本人専門家を派遣し、コロンビアの人たちと一緒にあちこちの川で観測や調査をしました。そのデータをもとに、洪水が起きたときにどんな被害が出るか、洪水が起きないようにするには、川をどんなふうを整備すればいいかなど計画を立てていきます。

国と技術者と地域が連携

また、コロンビア人の河川整備の技術者や、国や地方自治体などの行政関係者を日本に呼び、洪水対策が日本でどのように行われているのかを見ます。日本では洪水管理に国の役所(国土交通省)が関わっていますが、コロンビアにはそうした役所がないのも被害が大きくなる理由の一つです。研修やワークショップで危険に備えることを覚え、国と技術者と地域が連携して、洪水災害に対処できるよう、生かしてもらおうのです。

現在、コロンビアでは日本人の専門家が支援活動をしています。このプロジェクトが終わった後はコロンビアの人たちの手で洪水対策を続けなくてはなりません。そのためには、コロンビアの人たちと共に知恵を出し合い、洪水への準備に具体的に組み込んでいくことが何より重要なのです。

はじめよう SDGs

調べてみよう 考えてみよう



地球全体で気候が変わってきています。雨の多い地域では、さらに降水量が増え、



Q1 地球温暖化をはじめとする気候変動と関係がありそうなできごとやニュースを探してみよう。

Q2 地球温暖化を防ぐため、2015年に決まったパリ協定では「世界の平均気温の上昇を産業革命前に比べて2度未満に抑える」ことが目標になりました。今、自分たちでできる「気候変動への対策」を出してみよう。

■参考URL: 環境省「気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート2018～日本の気候変動とその影響～」
(http://www.env.go.jp/earth/tekiou/pamph2018_full.pdf)

温暖化を止めよう

SDG 13では、国の政策に気候変動対策を具体的に盛り込むことや、特に被害を受けやすい社会的弱者を守るための制度づくりを呼びかけています。

SDG 13では、2100年、地球の平均気温は最悪の場合4・8度上がると予測されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

持続可能な開発目標 SDGs

(Sustainable Development Goals)

2015年に国連の場で加盟国が決めた30年までの世界の目標です。



乾燥している地域では干ばつや砂漠が拡大。また、海面が高くなり、太平洋の島国ツバルは、国が海に沈む危機に直面しています。理由の一つが温暖化です。世界の平均気温はこの100年間で0・68度が上がりました。電気を使い、モノにあふれた人間の暮らしが二酸化炭素の量を増やし、急激な温暖化を招いています。